

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

宮崎県

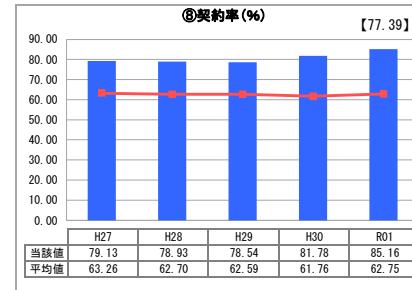
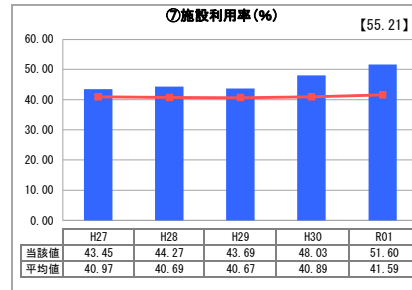
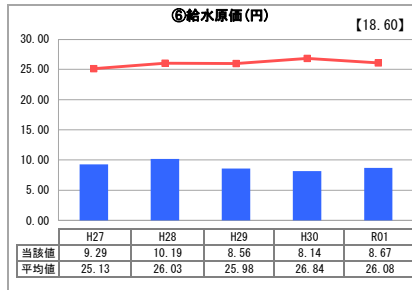
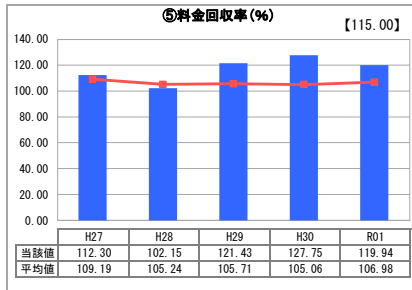
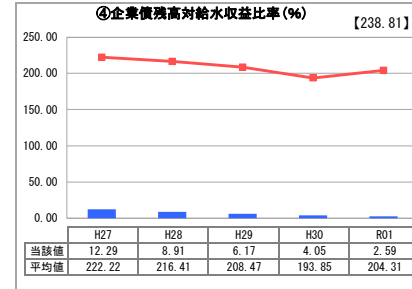
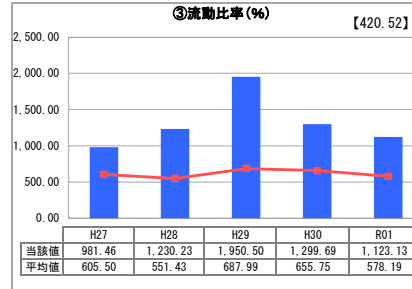
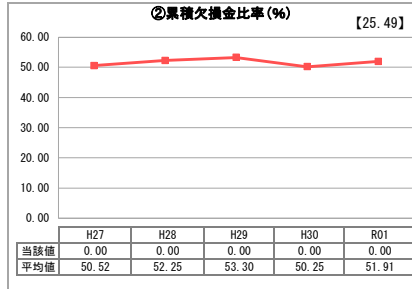
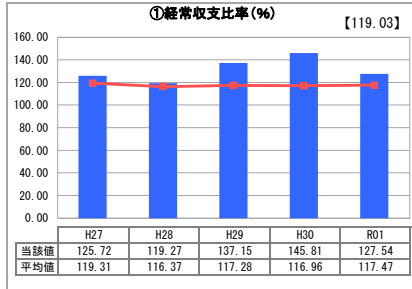
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	125,000	中規模	1	64,499
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	48.5	14	106,445	自治体職員	

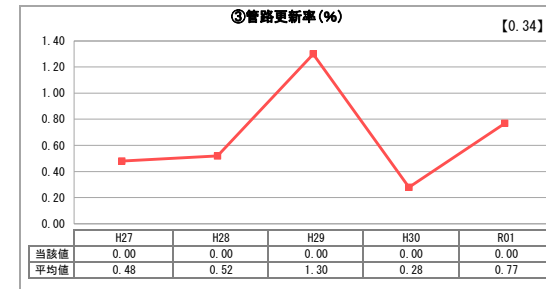
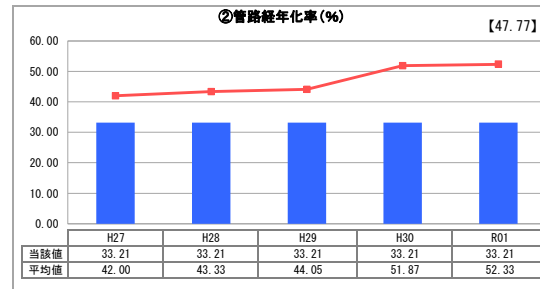
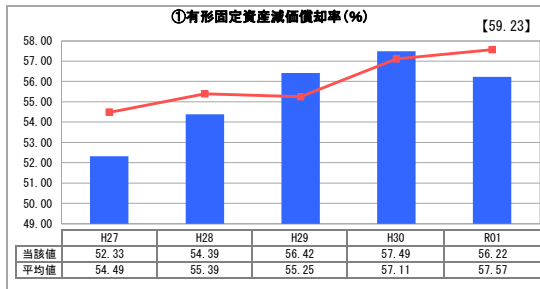
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率
 ・比率は前年度より減少したが、100%以上であり、引き続き健全な状態である。
 ・主な減少要因は、有価証券売却益の減により経常収益が減少したことや、減価償却費等の増により経常費用が増加したことである。

流動比率
 ・比率は前年度より減少したが、100%以上であり、引き続き健全な状態である。
 ・主な減少要因は、現金等の減により流動資産が減少したことである。

企業債残高対給水収益比率
 ・比率は前年度より減少しており、全国平均と比較して低くなっている。
 ・主な減少要因は、償還に伴う企業債残高の減少である。

料金回収率
 ・回収率は前年度より減少したが、100%以上であり、引き続き健全な状態である。
 ・主な減少要因は、経常費用の増により給水原価が増加したことである。

施設利用率及び契約率
 ・いずれも給水量の増により増加しており、全国平均と比較して高くなっている。
 ・今後も効率的な給水に努め、ユーザーからの給水量の増量要望などに円滑に対応したい。

2. 老朽化の状況について
有形固定資産減価償却率及び管路経年率
 ・償却率は固定資産の更新を行ったことで前年度より減少しており、全国平均と比較して低くなっている。
 ・経年率は直近の5年間は一定であり、全国平均と比較して低くなっている。
 ・策定予定のアセットマネジメント計画に基づいて、計画的な設備の更新等を行っていく。

全体総括

「経営の健全性・効率性」については、経常費用が増加したことなどにより、前年度と比較すると一部の指標が悪化したものの、引き続き経営状況は良好である。
 「老朽化の状況」については、当事業の設備は建設後相当の年数を経過したため、設備の状況を的確に把握しながら更新等を行っていく必要がある。
 令和2年3月に策定した経営戦略である「宮崎県企業局経営ビジョン」に基づく企業経営を着実に実行し、引き続き、健全経営を維持しながら、本県の産業経済の振興と住民福祉の増進を図っていく。